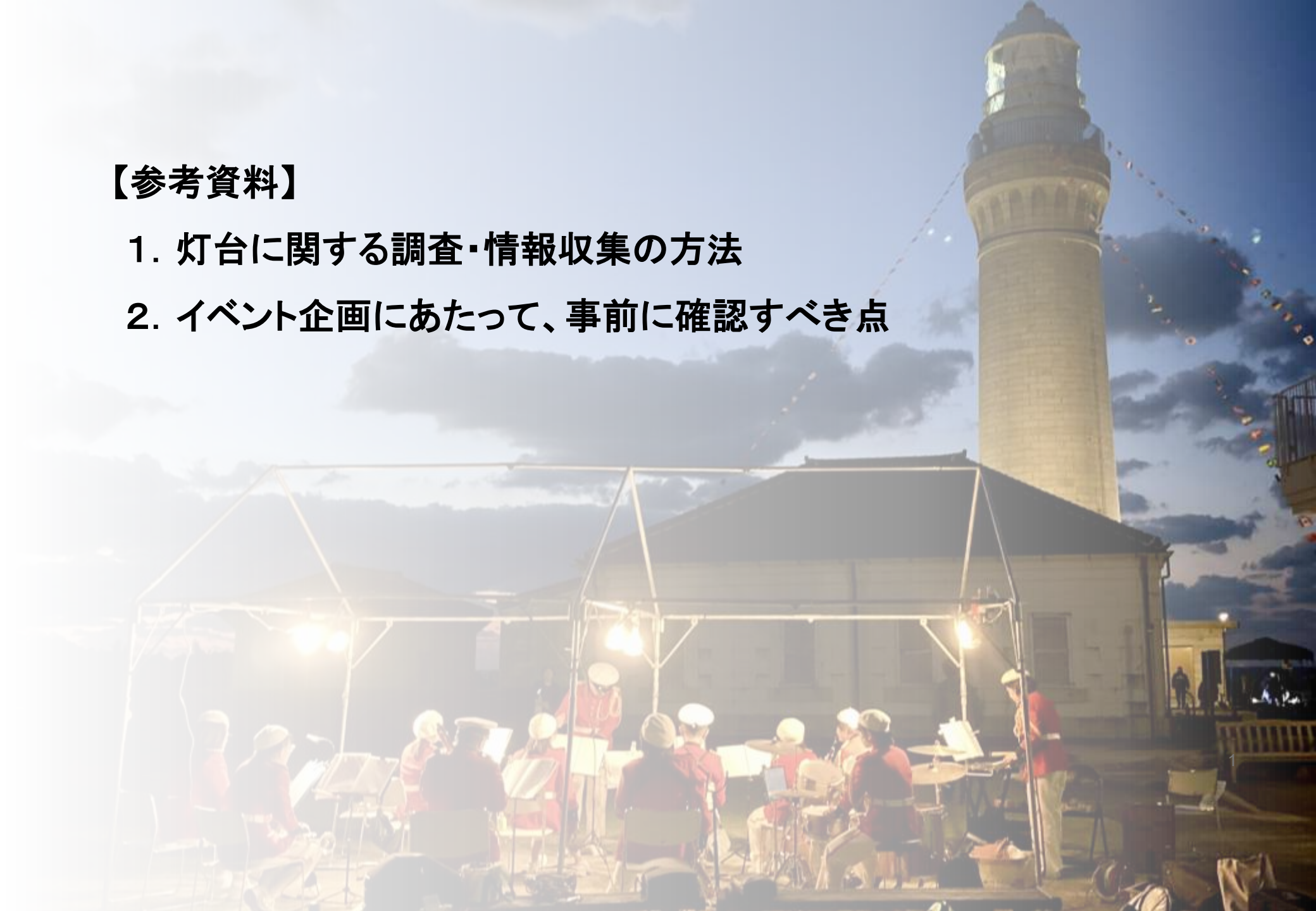


【参考資料】

1. 灯台に関する調査・情報収集の方法
2. イベント企画にあたって、事前に確認すべき点



1. 灯台に関する調査・情報収集の方法

①まず、灯台(航路標識)の一般的な知識を習得

▼燈光会Web「航路標識の話」は分かりやすく、とても参考になります

<https://www.tokokai.org/sign/>



- 航路標識の話
- ▶ 航路標識
- ▶ 灯台の生い立ち
- ▶ 西洋式の灯台ができる前
- ▶ 西洋式灯台の誕生
- ▶ 航路標識の発達
- ▶ 光波標識の種類
- ▶ 電波標識のしくみ
- ▶ 電波標識の種類
- ▶ そのほかの標識
- ▶ 航路標識のはたらき
- ▶ 灯台の光りかた
- ▶ レンズのはたらき
- ▶ 灯台レンズのいろいろ
- ▶ 海上保安庁所管航路標識基数表
- ▶ 全国の主な灯台

航路標識の話

1. 航路標識 一海の道しるべー

晴れた日に、私達が港のみえる丘や海への山に立って海を眺めると、大きな船、小さな船が気持よさそうにスイスイと走っているのを見ることができます。それはちょっと見たところ全く自由気ままに好きなのところを勝手に走っているように見えますが、海には浅瀬や暗礁などの危険なところもあって、どこでも走れるわけではありません。船がこのような危険物をさけて、安全に近道を走れるように、海にも陸上の道路に似た航路(船の通る道)というものがあります。



しかし、この航路は陸上の道路のように目には見えません。それで航海の安全をはかるには、海図という海の地図が必要になります。(海図については後の方でくわしく説明します。)

そして、自分の船が今その海図の上のどこにいるかを知らなければなりません。この自分の船の位置を正しく知って安全に航海するための海の道しるべを、ちょっとなじみにくい言葉かも知れませんが、航路標識とっています。

航路標識には、目に見える光や形を利用した光波標識、電波を利用した電波標識、そのほかのものがあります。これらは、みんな航海の安全になくてはならない船の道しるべです。

わかりやすく表にすると、次のようになります。

航路標識	光波標識	灯台、灯標、灯浮標、照射灯、導灯、指向灯など
	電波標識	無線方位信号所(マイクロ波標識局)、AIS航路標識
	その他	船舶通航信号所、潮流信号所

1. 灯台に関する調査・情報収集の方法

②対象とする灯台について調査・情報収集

◆基礎的調査

- ・基礎データ(高さ、光達距離、初点灯年など)→燈光会ウェブサイト
- ・設置された経緯(設置場所の歴史や地勢に基づく経緯)
- ・上記をふまえ、一般向け紹介文を作成(一般の方が灯台の価値や役割を理解し、行きたくなる内容に)

◆灯台のある空間に身を置き、実体験(実際にその場に身を置かないと分からないことが多々あります)

天気の良い日だけではなく、風が強い日や、霧や雨天時、朝・昼・晩の異なる時間帯、春夏秋冬の異なる季節を体験し、企画に生かしましょう。灯台の明かりはセンサーによって点灯・消灯します。その瞬間を見守る体験もぜひ。
※一般公開していない灯台については、管轄の海上保安部に相談を。



濃霧で何も見えなくなることも...

◆ヒアリング・アンケート(幅広い方々に話を聞くことをオススメします)

- ・海上保安部の方々(管理職、現在保守を担当している職員、過去に灯台守として宿泊勤務をされていた方、など)
- ・灯台立地の自治体首長、議員、職員(灯台利活用に関する自治体の考え、連携・事業費支出の可能性など)
- ・地元の方々(漁師、灯台周辺の住民、港湾関係者、郷土史家、灯台最寄りの人口密集地の住民)
- ・灯台を訪れる人々(訪問目的、楽しみ方など)

◆燈光会の会誌「燈光」過去記事検索(会員になれば過去記事を閲覧できます)

◆地元新聞、図書館の郷土史コーナー本(灯台にまつわる様々な話題が見つかります)

1. 灯台に関する調査・情報収集の方法

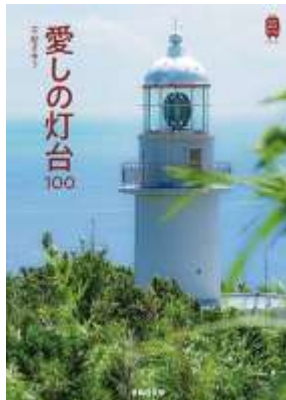
③おすすめの「灯台本」



「海と灯台学」
日本財団 海と灯台プロジェクト
(文藝春秋BOOKS)



「灯台から考える海の近代」
谷川竜一
(京都大学学術出版会)



「愛しの灯台100」
不動まゆう
(書肆侃侃房)



「灯台に恋したらどうだい?」
不動まゆう
(洋泉社)

2. イベント企画にあたって、事前に確認すべき点

◆交通アクセス

- ①公共交通機関でのアクセス
- ②自家用車でのアクセス(駐車場のキャパシティ、駐車場から灯台への導線)
- ③貸切バスでのアクセス(バスを駐車できる駐車場があるか)
- ④その他アクセス方法(自転車、バイク、近隣宿泊施設から徒歩、などがあるか)

◆インフラの状況 水道、電気、ガス、トイレ、街灯など

◆灯台への道のりや周辺の危険 道路崩落などの危険や、マムシ・熊など

◆土地・建物の権利関係

灯台直下は国有地ですが、周辺の土地は権利関係が複雑なので、事前の確認が必要

◆使用申請

国有地(占有使用は基本NG)…海保に相談

自治体の土地…海保に相談

自然公園法(建物の設置に関するルールや、使用する色の規制などがあります)、文化財保護法…管轄機関に相談

保健所(飲食、サウナなどを行う場合は相談を)

雨天時に屋内会場で実施する場合は、その会場とする施設

◆連携可能性

・連携内容…事業運営、サポート、コラボレーション、PR、協賛

・連携先…自治体(担当課)、企業、観光協会、ガイド、学校、観光施設、飲食店、物販店、個人など

※灯台周辺だけでなく、中心部からの導線沿いの店や施設も連携可能性あり

参考：「恵山岬灯台ガイドウォーク」ガイド用 説明フリップ



→説明用フリップへのリンク

灯台について全く知らない人にも分かりやすくクイズをおりませ、
バラエティに富んだ景色も楽しんでいただき、
「ブラタモリ」のような
知的好奇心が満たされる体験を提供しました

(ガイド料・散策後の飲み物代として
お一人1500円を徴収)